

令和7年度学校教育自己診断（保護者用）

令和7年度学校教育自己診断（保護者用）			R7年度 肯定的		R6 肯定的	R5 肯定的
1	入学前、本校について十分調べ受験させた。		84%	84%	76%	75%
2	受験は、本人の意思で決めた。		100%	100%	93%	96%
3	「学校に行くのは、楽しい」と子どもが言っている。		73%	73%	71%	80%
	1年	学校生活全般において教員が生徒たちが過ごしやすい雰囲気づくりをしている。				
	生指	生徒の質問項目3に準ずる				
4	学校はコース選択や単位取得、選択科目、履修について、わかりやすく伝えている。		89%	89%	85%	84%
	1年	合格者説明会や懇談などで時期に合わせて丁寧に説明した。				
	教務	昨年度から4％アップした。説明会や懇談などを利用し、説明できている点が大きいか。				
5	学校は、単位制としての教育方針をわかりやすく伝えている。		84%	84%	89%	86%
	教務	例年通りスライドを使い説明している。より分かりやすい説明となるよう注力していく必要がある。				
6	「学校の授業は、わかりやすい」と子どもが言っている。		80%	80%	89%	86%
7	「学校の授業は、落ち着いて学習しやすい」と子どもが言っている。		70%	70%	76%	69%
	1年	各教科担当の指導と巡回などで何かあればすぐに対応している。				
	2年	落ち着いて学習が取り組めるように、巡回等を強化していく必要がある。				
	3年	3学年としては全体的に落ち着いて授業を受けている様子である。				
	生指	生徒の質問項目8に準ずる				
	生徒支援	一部の生徒の私語が目立っている。学校全体で対応していく。				
8	ゼロ時限目の授業を知っている。		93%	93%	80%	84%
	1年	合格者説明会や懇談などで時期に合わせて丁寧に説明した。				
	教務	今年度は、昨年度より受講生徒が増加した。担任から卒業や進級に向けて単位の意識をつけているからか。				
9	土曜講座を知っている。		84%	84%	67%	73%
	1年	合格者説明会や懇談などで時期に合わせて丁寧に説明した。				
	教務	今年度は、昨年度より受講生徒が増加した。担任から卒業や進級に向けて単位の意識をつけているからか。				
10	生徒の興味や関心、希望の進路に応じて選べる選択科目がある。		59%	59%	64%	61%
	教務	生徒の希望する選択科目を選べるように行っているが、一部で人数の都合などで第2、3希望となっている場合もある。次年度では希望していたものを選択できるようにしていく。				
11	学校には、話を聞いてくれたり、気軽に相談できる先生がいる。		82%	82%	91%	78%
	1年	昨年度より9％減ったが高い数値を保っている。教員と生徒の関係性が作れたことと、家庭連絡をしっかりとった。				
	2年	100％に近づけるように日々の声掛けを継続する。				
	3年	担任を中心に学年全体でサポートしていく。				
	生徒支援	SC、SSWなどの面談に適切につなげ、校内支援体制を充実していく。				
12	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。		86%	86%	78%	76%
	1年	昨年度より8％増えた。様子がおかしいときに素早く対応して家庭連絡をした。				
	2年	100％に近づけるように日々の声掛けを継続する。				
	生指	生徒の質問項目22に準ずる　また、家庭との連絡を丁寧にしているため。				
13	学校の様子をホームページ、寝屋定メール、懇談や配付プリントなどによって知ることができる。		82%	82%	78%	80%
14	学校の授業見学会や体育祭、文化祭等に参加してみたい。		70%	70%	67%	80%
	生指	保護者の積極的な参加を促し、家庭と学校が協力しながら、生徒一人ひとりの成長につなげていきたい。				
15	学校は奨学金制度についてきちんと説明している。		80%	80%	89%	78%
	進路	R6年度より肯定的意見が下がったが、制度の煩雑さが一因であると考えられる。個別に今後もより丁寧に説明をするように努めていきたい。				
16	学校は就職や進学について、適切な指導を行っている。		77%	77%	80%	78%
	4年	保護者に対しての進路指導の状況などを細かく伝えていなかった。来年度以降丁寧に連絡をできるようにしたい。				
	進路	R6年度より肯定的な意見は下がったが、誤差内だと考えている。曖昧な自己理解で進路選択をする傾向にあるが、今後も家庭の状況や個人の適性に応じて、より希望にそった進路指導をすすめていく。				
17	学校の生活指導の方針は、理解できる。		86%	86%	95%	84%
	1年	昨年度より9％減ったが高い数値を保っている。寝屋定すべての教員が丁寧に説明や指導を実践している。				
	3年	引き続き丁寧に説明し対応していく。				
	生指	生徒の質問項目20に準ずる				
	生徒支援	引き続き丁寧に説明し対応していく。				
18	学校は、命の大切さ、社会のルール、人権の大切さについて考えさせる機会を作っている。		77%	77%	91%	82%
	2年	保護者に対して、生徒の学習内容を周知する機会が少ないのではないか。				
	生指	学校での取り組みを保護者へも積極的に発信していきたい				

令和7年度学校教育自己診断（保護者用）			R7年度		R6	R5
			肯定的		肯定的	肯定的
19	学校は、災害時の対応、防災や防犯等の生徒の安全確保について伝えている。		86%	86%	95%	78%
	保健	避難訓練時に訓練用の緊急連絡を行ったりしたが、まだ周知徹底できていない。日頃からの保護者への情報提供が課題。生徒経由での通知文が保護者の手元に届かないことも考えられるため、HPに「災害対策」として掲載することも検討する。				
20	PTA活動や保護者同士の交流が盛んになれば良いと思う。		30%	30%	27%	45%
	生指	今年度も、定時制委員会として明月祭の模擬店出店に協力いただいた。アンケート結果にも示されているように、今後も無理のない範囲で教育活動に参加いただけるよう取り組んでいきたい。				
21	学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。		91%	91%	87%	84%
	1年	昨年度より4％増えた。担任が些細なことでも家庭連絡をしている。				
	2年	継続的に家庭との連携を強化していく。				
22	本校に通学することで日常生活によい影響を与えているように思う。		86%	86%	89%	90%
	1年	不登校だった生徒が登校できるようになり生活環境が変わったことが大きい。				
	生指	学校での様々な取り組みを通して、生徒の自己肯定感がはぐくまれが成長できている。				
23	子どもは、以前と比べるとあいさつをするようになったと思う。		63%	63%	73%	73%
	1年	昨年度より10％減っているが、学校ではあいさつをしてくれる生徒は年々増えていると感じる。				
	4年	生徒のアンケートでは挨拶の数値は高いが、保護者の方は低い。学校外での挨拶の必要性、挨拶をすることのメリットなどを生徒に伝えれば保護者数値も向上するかもしれない。				
	生指	記述回答にもあるように以前から挨拶を行っている生徒も多いため				
24	本校に対するご意見、ご要望がある方はご記入ください。					
		23番、以前よりあいさつは行なっておりあてはまらないとしております。先生方、今回の学友との摩擦についても速やかにご連絡いただきまして本当にありがとうございます。娘も信頼できると申しておりました。				
		先生にはとても良くしていただき感謝しています。				
		中学生時代、不登校だった子供が寝屋川高校定時制に入学し4年になり卒業できるまでになりました。とても感謝してます。あと少して卒業ですが楽しい思い出が最後まで作れるようお願い致します。				
		ありがとうございます				